

台風・大雨に備えましょう！

7月の大雨は岐阜県を含む広範囲で甚大な被害を及ぼし、平成最大の水害となりました。そしてこれから夏から秋にかけて台風のシーズンとなります。

台風や局地的な大雨により、冠水や道路の寸断など、畜産経営に影響の出る被害が予測されます。今後も台風等による災害発生リスクがあることから、減災のための取組に努めましょう。

【事前の対策】

1. 県や市町が公表しているハザードマップを確認し、どのような災害に遭う可能性があるかを予め把握しておきましょう。
2. 可能な限り、家畜の避難先や避難経路を予め検討しましょう。また、被災時の緊急連絡先(役場、農協、家保等)を確認しましょう。
3. 浸水や停電に備え、発電機や排水ポンプ等の準備に努めましょう。
4. 飼料や燃料は、少なくとも1週間以上家畜を飼養するために必要な量を在庫として持つように努めましょう。また、飲水についても貯留タンクの設置や、くみ上げポンプなどの準備に努めましょう。

【被害拡大防止の対策】

1. 避難勧告が出された場合は、人命最優先の行動をとりましょう。
2. 避難までに時間的余裕のある場合、しばらく飼育管理が出来ない可能性を考えた対策・対応を講じましょう。
3. 機械を再稼働する際には漏電やショートに注意し、安全に気を付けましょう。
4. 道路の寸断等により飼料搬入が困難な状況が長引く場合は、家畜の生命維持を優先した飼養管理を心掛けましょう。

【被災後の対策】

1. 天候が回復したら畜舎内外の排水と消毒を行いましょう。
2. 畜舎など施設や農場内設備に破損や汚染が無いかを確認し、必要に応じた補修・洗浄をしましょう。
3. 飼養している家畜の健康状態を確認しましょう。
4. 飼料に倒伏、冠水、土壌の付着などによる品質の低下が無いか確認の上、給与しましょう。

